

 <p>ROTARY CLUB OF NARITA AIRPORT MINAMI DISTRICT 2790</p> <p>成田空港南R.C. 会長テーマ</p>	 <p>国際ロータリー第2790地区第6分區</p> <p>創立 昭和41年10月6日 承認 昭和41年11月21日</p>	<p>WEEKLY BULLETIN</p> <p>例会日時 毎週木曜 12:30点鐘 (最終例会 18:30点鐘)</p> <p>例会場 中国ダイニング富士屋</p>
		
<p>事務局 〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6 TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178</p>		<p>URL http://www.narita-airport-m-rc.jp E-mail info@narita-airport-m-rc.jp</p>
<p>第2790地区ガバナー 関口 徳雄 第6分區ガバナー補佐 土屋 利夫</p>		
<p>平成25年8月1日発行 NO.2060 第2188例会 会長 古西 弘和 幹事 秋葉 講一 会報担当 市原 豊彦</p>		

例会報告(平成25年8月1日)

点 鐘 会 長 古西弘和
ソ ン グ 「君が代」
「奉仕の理想」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨拶 会 長 古西弘和
会 務 報 告 会 長 古西弘和
幹 事 報 告 幹 事 秋葉講一
プログラム

第一例会につき 結婚・誕生祝い
各委員会報告
会員卓話 (五十嵐俊也会員)

「奥様誕生祝」 小杉秀文夫人智子様
土屋俊夫夫人ひとみ様
五十嵐俊也夫人路子様
前川成吉夫人賢珠様



五十嵐会員 / 土屋会員 / 前川会員 / 古西会長

8月の誕生・結婚記念祝

「誕生祝」

杉森幹男会員
古西弘和会員
野島暉通会員
市原豊彦会員



杉森会員 / 古西会長

「結婚記念祝」 上原広嗣会員



「乾杯」 第26会長 青柳 誠会員

会長挨拶・会務報告

皆さんこんにちは。先週はガバナー補佐がご来訪されました。例会終了後に有志によります‘ガバナー補佐との懇親会’を吾妻庵さんで行いました。急なことだったのですが、15名の方に参加していただき、ガバナー補佐も急なことでこんなに多数の方々に集まっていただき恐縮し、非常に感激しましたとお礼のお電話をいただきました。

今月は、会員増強・拡大月間であります。 関口ガバナーは、一瞬でもいいから会員3000名を目指したいとおっしゃっておりました。当クラブにおいても、ここ数年、会員数も横ばい状態が続いております。この増強の問題に関しては、会員増強委員会の委員だけではなくクラブ会員全員の問題だと思えます。もし、ご近所、仕事関係等ですばらしい方がいらっしゃればご紹介をよろしくお願いいたします。次に、本日、ロッテ愛好会でマリスタジアムに野球観戦へ行きます。空模様が少しあやしいようですが、今日のロッテの予告先発は、成田高校出身の唐川投手の先発ということで非常に楽しみにしております。

最後に、会務報告としまして、10月7日（月）地区大会記念ゴルフ大会が市原市の鶴舞カントリー倶楽部で行われます。参加希望の方は早めに事務局の方までご連絡ください。以上、挨拶並びに会務報告でした。ありがとうございます。

■ 理事会報告

第2回定例理事会

日時：平成25年8月1日（木） 11：00

場所：成田空港南R C事務所

議題

1. 7月度会計 承認の件
原案通り承認されました。
 2. 2013-14年度活動計画書内容 承認の件
原本通り承認されました。
 3. 50周年記念大会の件
森川年度の理事及び役員にて「準備委員会」を組織し、「実行委員会」委員の選任をお願いする事としました。
 4. 各委員会活動の報告
 - ①親睦委員会より
 - ・9/26の観月会は、成田ビューホテルにて、ムッシュ吉崎氏を招いて行います。
 - ・それに先立ち、おにぎり会主催のゴルフコンペを開催します。
 - ②会員増強委員会より
 - ・新規会員の勧誘時には、手土産を持参する事としました。
 - ③クラブ管理運営委委員会より
 - ・9月の卓話を、青少年奉仕担当にお願いする事としました。
 5. その他
 - ①CLP導入中ですが、この是非について検討する事としました。
 - ②金刀比羅神社への、寄付を承認しました。
- 以上

■ 幹事報告

①例会変更のお知らせ（回覧）

- ・小見川R C
8/14（水） 休会
8/21（水） 納涼例会予定
- ・茂原R C
8/14（水） 休会
8/21（水） 夜間例会（家族親睦納涼会）



点鐘19：00 真名C.C.

- ・東金R C
8/13（火） 休会
- ②会報受領クラブ
 - ・茂原中央R C ・多古R C ・小見川R C
- ③活動計画書受領クラブ
 - ・東金ビューR C
- ④8月ロータリーレート 1ドル=100円
- ⑤PG白鳥様, 織田様より会報のお礼状が届いております。
- ⑥お知らせ
 - ・年会費の納入のお願い
 - ・会員宅の新盆について
 - 古西会長
 - 越川博光会員
 - 富一美会員

■ 各委員会報告

新年度活動計画の発表

◇奉仕プロジェクト委員会



委員長 小川 佐内
(代読 鈴木 匡哉会員)

小川委員長欠席のため代読いたします。

当クラブの奉仕プロジェクト委員会は、「社会奉仕」「環境保全」「国際奉仕」の3つより成り立っております。

【基本活動方針】

「地元地域をはじめとして、広く社会に貢献する」事をテーマに、委員のみならず、多くの会員が和気あいあいと楽しみながら進んで参加頂けるような活動を行います。

【担当毎の活動】

① 「社会奉仕活動」

- (リーダー小杉秀文・サブリーダー鈴木匡哉)
- ・「救命救急」意識向上と実践のために、AEDの取り扱い講習会を開催いたします。
- ・福祉施設等に鮭稚魚の里親制度に参加する事を支援していきます。
- ・被災地域の植樹を行い震災復興に寄与します。

- ・クラブ会員が会社のトップとしての資質向上と地域社会のリーダーとしてのマナーを身に着けるべくビジネスマナー講習会を開催いたします。
- ・社会奉仕活動の一環として地域学校施設へのテナントの寄付を行います。

② 「環境保全活動」

- (リーダー高田一行・サブリーダー小林定雄)
- ・鮭稚魚の里親制度に参加し、放流事業への協力を通して環境保全を訴えていきます。
- ・横芝光町と協力して九十九里海岸の清掃活動とおし環境美化に貢献していきます。

③ 「国際奉仕活動」

- (リーダー河野和夫・サブリーダー越川博光)
- ・人間理解と善意の高揚を願い、それを交換し理解を深め、フェロウシップと奉仕により世界平和をうちたてる努力につながる日常的な行動を推進。

◇青少年奉仕委員会



委員長 渡辺 孝文

今年委員長を担当します渡辺です。今年度しっかりとやっていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

【基本方針】

地域の若い人々を育てたり、支援したりする活動に力を注いでまいります。「インターアクト」「ローターアクト」の活動については、取り組むべき方向性を議論してまいります。ライラについては、各事業所、ロータリアンの家族から多くの参加者を募りたいと思ひます。我クラブとしては、毎年行っている青少年の行事に協力、参加して、若い人達にロータリークラブを知ってもらおうとともに、楽しい、有意義な活動を提供したいと思ひます。新規事業として、毎年山武市のぎくプラザで行われているユースコーラスフェスティバルの後援を行います。青少年交換については、高校生を中心に学校への説明を行います。要望があった時にしっかりと対応したいと思ひます。

【事業計画】

- ・剣道大会への協力 (担当 杉森幹男)
- ・RYLAへの参加 (担当 上原広嗣)
- ・金刀比羅神社書道展への協力 (担当 渡辺孝文)
- ・NORTH CUP (ミニバスケット) への協力

- (担当 石田喜一)
- ・発明クラブへの協力 (担当 菅井直秀)
- ・ユースコーラスフェスティバルへの後援 (担当 齋藤逸朗)

◇ロータリー財団委員会



委員長 越川 忠

【基本方針】

ロータリー財団委員会の責務の一つは、会員にロータリー財団について知ってもらうことです。ロータリー財団が、いかに人々の生活に変化をもたらしているかを理解すれば、会員が財団のプログラムに熱心に参加し、寄付をしようという気持ちが生まれ、委員会の目標達成に近づけると思ひます。

【事業計画】

ロータリー財団担当

- リーダー 椎名 隼一郎
- サブリーダー 倉石 昌治
- 委員 川島 宥

1. ポールハルスフェロー、マルチプル、ベネファクターへの協力とお願ひ。
2. 奉仕プロジェクト委員会と協力し、財団の地区補助金を利用して、鮭の稚魚の里親制度に参加し、地域の人々と交流活動を行う。

米山記念奨学会担当

- リーダー 小野田行伸
- サブリーダー 青柳 誠
- 委員 渡辺 晃

1. 米山記念奨学会への普通寄付をお願ひします。
2. 特別寄付、米山功労者(2名)を目標とします。

皆さん自主的に申し出ていただき、すでに寄付の目標は達成しました。ありがとうございます。

R財団特別寄付としまして、

椎名隼一郎会員 (マルチプルPHF3回)

富 一美会員 (マルチプルPHF3回)

米山記念奨学会特別寄付としまして、

青柳 誠会員 (米山功労者5回)

土屋 俊夫会員 (米山功労者)

◇会計委員会



委員長 鈴木 恭一

会計委員長鈴木です。よろしくお願い致します。

【基本方針】

当年度の予算書をクラブ細則における財務規定に基づき作成いたします。

会計委員会の方針として、収入と支出および積立金をよりわかりやすくしていきます。

1. 移動例会時等の臨時会費を抑え、多くの会員が気軽に参加できる環境を作ります。
2. ニコニコボックスに集まったお金をニコニコ基金とし、用途を明確に限定し、奉仕活動の資金に充当していきます。
3. 各委員会への活動資金として用途と金額を予算化し、それぞれの委員会が計画・立案・活動など活発にできるようにしていきます。

今年度は昨年度よりもっと良い事や楽しい事がいっぱい皆さんにあり、ニコニコ基金にたくさん入金できます事を。そしてまた、奉仕活動が充実しますように。よろしくお願いします。

■ 会員卓話



五十嵐俊也会員

今回自己紹介を兼ねまして、私の野球人生について、お話をしたいと思います。

昭和36年3月26日東京都練馬区で生まれました。その後、池袋から東武東上線で30分ほど行った東京のベッドタウン、上福岡市という所で高校時代までを過ごしました。

友達に誘われて、小学校3年生から地元の少年野球チームに入り、野球にのめり込んでいきました。学校から帰って来るとランドセルを放り投げグローブとボールに持ち替え、壁にボールをぶつける、今思うとそれが野球の練習になっていたんだと思います。

5年生からエースとしてチームを引っ張ってきましたが、地元にはすごく強いチームがあり、とても優勝することはできませんでしたが、秋に行われるオールスターゲームに全埼玉のメンバー20人に選ばれて（全埼玉・全東京・全千葉 計80名）優勝しました。その時の開催地が千葉の天台野球場であり、私の初ヒットの思い出の場所でもあります。その時から千葉には縁があったかなって思います。

6年生の時には関東退会で優勝し、オールスターゲームにも選ばれ敢闘賞を受賞しました。その時最高殊勲賞に選ばれたのが、関東大会の決勝で対戦した東京代表のチームの投手で、のちに都立東大和高校が甲子園に出場した時のエースでした。

また中学校でも野球部に所属しました。少年野球チームがそのままあがったものですから近年にない強いチームでした。春の地区予選を勝ち抜き、県大会の出場が決まった直後、私は体育の授業中サッカーで右太もも大腿部を肉離れしてしまい、1週間ギブスをはめることになってしまいました。このギブスはずした後のリハビリが大変で、ひざを曲げるために約1ヶ月もかかってしまい、なんとか県大会には間に合ったものの練習不足は隠せず、1回戦が事実上の決勝戦と言われるほどの強豪で、最終回に押し出しの四球でさよなら負けを喫しました。もちろんそのチームが優勝しております。実は試合前日、私が気持ちよくバッティング練習をしていると、普段何もいわない先生から、お前はバント練習をしろ！と、言われてふてくされていい加減に練習をしていました。試合は終盤1死3塁のチャンスに打席が回ってきました。サインはスクイズです。案の定アウトコース高めのボールをファウルしてしまいスクイズ失敗してレフトフライで得点することができませんでした。今でも私の心の中にはあの時一生懸命練習をしておけばスクイズを決められ優勝することができたな・・・と悔いが残っています。

高校進学につきましては、3回目の甲子園出場を目指す川越工業高校からの誘いがあり、また、少年野球の先輩も居たことから右も左もわからず入学しました。その当時も、埼玉県では上尾高校か、川越工業高校か、千葉県で言う銚子商業・習志野高校に匹敵するところだと思います。

中学校の卒業と同時に高校の練習に参加、毎日毎日が練習でみんなは何か理由をつけては練習を休もうとしていました。私も革靴のせいで靴擦れがひどくかかるとが膿んでしまい、これで自分も練習が休めると思っていました。翌朝起きてくると父親が自分の

運動靴のかかとだけをきれいに切り取って傷口にぶつからないようになっており、これで練習できるようになつたと言われしづしづ練習をしたことが思い出されます。そのかいあってか、入部して1年生ではただ一人、毎日厳しい個人ノック2年生からの嫌がらせ、また夜は怖い先輩たちと居残り特訓と非常に精神的にも肉体的にも鍛えていただき、夏の大会では1年生でただ一人背番号17番を頂き、試合には出られませんでした。一生懸命バット引きをやったことが思い出されます。

このとき私が一番悩んだのは柔軟体操二人一組、僕は誰と組めるのかな？余ってしまうな？そんなことで悩んでいたことが今となっては可笑しく思い出されます。その夏のエースが大会前君津商業との練習試合で死球を受け投げる指の爪を剥がすアクシデントに見舞われ、ベスト4で敗れてしまいました。ただ、この年は夏の全国大会を制した松本投手を率いる桜美林高校（元千葉経済大附属高校監督）と練習試合を行い一歩も引かず、終盤ランナー2塁の場面で牽制球がランナーへのヘルメットに当たりボールが右中間を転々としている間に1点を失い0-1で敗れましたが、すごく強いなと感じました。新チーム結成後は5番ライトかファーストとしてレギュラーを獲得、甲子園を目指しましたが2年の夏はベスト8で甲子園に出場した川口工業高校に敗れてしまいました。3年のときにはエースで4番として春の関東大会に出場、1回戦木内監督率いる取手二校と対戦10-5で勝ち、2回戦は私は投げませんでした。荒井監督率いる我孫子高校に2-4で敗れてしまいました。どちらも夏の大会は甲子園に出場しております。

取手二校の4番センター大野君はのちに東洋大学をへて阪神タイガースに入団しました。最後の夏の大会は非常に苦しい状況（カーブが突然曲がらなくなってしまう全て直球勝負）3回戦で立教高校と対戦、ここを乗り越えれば甲子園は見えると思った矢先、延長10回私の3塁への暴投で勝ち越し点を奪われ1-2で敗戦、甲子園は夢となっております。また、立教高校は決勝戦までコマを進めております。大学進学につきましては駒澤・帝京・明治とありました。駒澤大学は後に西武ライオンズの石毛さんがキャプテンをしており、練習に参加しましたが寮生活は非常に異様な雰囲気でもとてもやっていた気がしませんでした。次に帝京大学は2年上の先輩がおり、練習も楽で休みも多いし特待生で来てもらいたいと言う甘い言葉について「はい、行きます」と答えてしまい、明治大学も1年上の先輩からの誘いがあるにもかかわらず、断ってしまいました。後でよく考えてみると明治大学に行っていたら今頃はどんなになっていたのかな？なんて思うこともあります。今こうやって皆様とお会いできたのも、帝京大学へ行ったおかげだと思います。入学前、2/27からの勝浦の春季キャンプに参加、行ってみると監督は変わっており早稲田大学の助監督をしていた方で、六

大学の明治・東都は駒澤が練習が一番厳しく、首都では帝京が一番練習をやるというスローガンの下、休みは3ヶ月に1回、練習時間は長く、リーグ戦で勝ち点を上げては休みなく、ずいぶんすごいところに来てしまったなと思いました。大学時代は寮生活、場所は東京・神奈川・山梨の県境、中央高速小仏トンネルの東京側は雨でもトンネルを越えると雪という、中央本線の相模湖駅から15kmほど奥に入ったあの観光地で有名な相模湖ピクニックランドの反対側の山の中腹に薬学部と野球部の寮があり周りには何もなく、生活には非常に困った思い出があります。

娯楽施設は相模湖駅前のパチンコ屋とボウリング場が1軒あるだけで、山が多いため走り込みにも最適で野球に打ち込むには最高の環境といえる所だと思いました。

寮生活は朝6:30起床、6:45体操、7:00朝食、朝食は一人卵1個とのりと味噌汁です。前の晩に先輩が卵を食べてしまうと1テーブル6人に卵2個なんてことも頻繁にあり、ごはんは味噌汁をかけて食べることもあり。当番2名は普段5:00起床で朝食の準備（釜で60人分のご飯を炊き、わかめ豆腐の味噌汁をつくり）もう一人は先輩の部屋から前の晩に使った食器類を回収して来ての食器洗い。リーグ戦中は2:00起床でご飯を炊き、海苔とソーセージを焼き、たくわんを切ったらみんなを起こしてきて昼の弁当づくりを開始、（おにぎり4個・たくわん4切れ・ソーセージ1本）朝食終了後は寮の掃除、8:00学校出発、グラウンド整備、練習終了後道具磨きから先輩のマッサージや洗濯と夜食づくり、1年生のときはテレビや新聞を見る暇もなく軍隊のような生活で21名入った新入部員も夏には5人になりさらに苦しい生活が始ったこと、苦しかったことしか思い出はありません。先輩の怪我がきっかけで、1年の秋リーグ戦デビューをしました。その当時東海大学は原・津末・村中のスターがいて、スタンドには200人以上の女子大生が応援に来ており、敵ながらすごいな、またヒットを打って1塁に来た原さんを見てかっこいい〜っと思いました。

大学時代、1年生のときは1年間軍隊のような生活でしたが、2年生からはポジション争いが激しく、常に競争の日々であり、大学4年間は競争心を学びました。また、共同生活で仲間と苦しみながらもいろいろなことを乗り越えられたことが一番の思い出です。その中で礼儀やマナー、さらに両親に感謝する気持ちを学んだことはとても大きなことだと思いました。

就職について、当時社会人野球（ノンプロにて公式野球）を希望していましたが、千葉相互銀行（元京葉銀行）より熱心なお誘いがあり（ボールは軟式でも、仕事をきちんとしながらも日本一を目指す野球をやらないか）埼玉県人でありながら千葉に家を建てて将来は両親を呼ぼうという決心のもとお世話になることとなりました。

ここで、当行の野球部についてお話しします。当行は昭和18年3月、当時戦時中の強制により銀行の前身である4つの無尽会社が1つに合併されたものです。その当時は、なかなか社員間もうまくゆかず、組合も第一組合、第二組合と二つあって、毎日騒いでいたようです。ある日この第一組合と第二組合が昼休み無心にキャッチボールをしている姿を見て平塚六郎部長（のちに第4代社長）が和を尊ぶために、昭和21年野球部を発足しました。その時の目標が、日本一の野球部と日本一の給与を取る銀行を目指そうという事だったそうです。

昭和31年初の全国大会出場し、昭和35年には天皇賜杯において初の全国制覇を達成。現在、天皇賜杯5回、国民体育大会6回、健康保険の大会3回、常陸宮杯（準硬式）3回の合計17回の全国優勝を誇っております。

これだけの実績を誇る伝統ある野球部ですが仕事は何より優先です。原則としては火・水・木の3日間、仕事を4時に切り上げてからの練習および土・日・祝日と高校野球みたいで、授業を受けた後の部活のようなものです。夏休みも一般の行員は1週間とりますが、野球日は1日だけ、あとは天皇賜杯・国体の全国大会に出場すれば休みを頂けるからです。でも勝たないと全国大会へ行けないので、みんな必死で頑張りました。また平日練習へ気持ちよく行かせてもらうためにも他人より朝早く来て仕事をしたり、昼は5分くらいで食事を済ませ仕事をするなどみんな工夫と努力をしていたと思います。一般の人より少ない時間で目標を達成しなければならなく、朝からの行動計画を立てて少しでも効率よく外訪活動をする事を心がける、これが今時間・業務の効率化に結びついていることだと思えますし、この苦しい目標を達成することが、ピンチをしのごたり、チャンスでヒットが一本出る事等を学びました。

私は現役時代全国制覇をすることは出来ませんでした。北は北海道のはまなす国体から南は沖縄の海邦国体と天皇賜杯6回・国体が5回全国大会に出場、コーチ時代は平成3年石川国体において15回目の全国制覇を達成、監督時代は平成5年の香川・徳島合同国体においては準優勝しました。ただ、銀行として準優勝では1回戦負けと同じであり準優勝しても何もありません。

千葉県で勝って当たり前、関東大会で勝つのも当然であり、全国大会で優勝してやっと県知事、市長その他、各関係者をお招きして祝勝会をやっていただけると言う事です。とても厳しいと思われそうですが、ただ今この環境の下、各企業が部活動の廃部や休部をしている中、さらに野球ができる環境を作っていたに深く感謝しております。

最後になりますが、私は、この人生スポーツを通じてたくさんの事を学び、自分の大切な財産となっています。

われわれ銀行員はいろいろな人に助けられています。（謙虚・真面目・素直・本気・感謝の気持ちがある・きちんと挨拶が出来る・人を待たせない・一生懸命）そんな人にみんなが力を貸してくれます。お客様との信頼関係を築かなければ仕事はできません。大切なのは誠実さです。今からでも自分を磨いていきたいと思えます。

■ ニコニコボックス

青柳誠君・菅井直秀君・内田裕雄君
小林定雄君

…五十嵐支店長 卓話ありがとうございます
土屋俊夫君・五十嵐俊也君

…奥様誕生祝いありがとうございます
富一美君

…仕事多忙で欠席してすみません
向後雅生君

…千葉銀行創立70周年記念事業の一環として大学と企業の連携支援という事で向後米穀子会社（農業生産法人 理想郷）が千葉大学と連携支援企業として助成金が交付されました

鈴木恭一君

…このところ良い事がないのでありますように
石田喜一君・前川成吉君

…野球の見学が中止にならないよう
古西弘和君・杉森幹男君

…誕生祝いありがとうございます
伊藤元雄君

…野球が楽しみですが雨が心配です
高田一行

…野球見学が雨にならないよう
渡辺孝文君

…新居ができました
先日はありがとうございました

花澤昇一君
…多忙で休みが多くてすみません

上原広嗣君
…野球が楽しみです

本日計 36,000円

累計 138,000円

■ 出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
8月1日	37	27	33	81.82

☆ 欠席したらマークアップをしましょう ☆